

# 杉谷の仏教文化

## 杉谷中世墓遺跡

### 指定地・位置

菰野町大字杉谷字南谷、標高 100m の丘陵にある。面積 546 m<sup>2</sup>。杉谷集落より 500m の丘の上にある。赤松を主とした山林で現地で出土した五輪塔石が雛壇状に並んでいる。2 回にわたる発掘調査によって中世の寺院の墓地として大規模なものであることが判明した。茶毘に付した火葬穴を保存する。

### 発掘調査

#### 第一次

昭和 38 年 6 月 20 日～27 日・瀬戸、常滑製の蔵骨器と五輪塔が出土。

#### 第二次

昭和 40 年 3 月 10 日～4 月 6 日・蔵骨器 4 と火葬穴 7 カ所・人骨、木炭、釘等が出土。

### 杉谷文化財収蔵庫に保管の物、出土陶器

瀬戸系 壺、水注 計 29 点

常滑系 壺、甕 計 16 点。その他 17 点

美濃系 壺 1 点 山茶碗、山皿、小皿

中国系 壺 1 点 山皿の一部は地元伊勢の窯で作られた物も 1 点あり。

## 観音寺跡

位置は杉谷字北谷にあり面積は 856 m<sup>2</sup>。杉谷中世墓跡より約 200m、北方の谷を隔てる山林の中に礎石が 10 個ほど残る。焼けているもの 7 個程あり、瓦出土・軒丸瓦の残欠、布目瓦も混じっている。全体は未発掘。

## 杉谷城跡

### 位置

杉谷字南谷 2237 番地 面積約 1,000 m<sup>2</sup>。(中世墓地より東南、平坦な地続きの場所)。

## 江戸期の寺院

- ①杉谷山円導寺、本尊三尊仏、浄土宗引接寺兼地。
- ②杉谷山観音寺、本尊十一面観音、明治に廃寺、現在は慈眼寺。
- ③尾高山引接寺、本尊千手観音。現在の奥の院尾高観音堂。
- ④芳岡山翠巖寺、本尊阿弥陀如来、江戸前期に開基、真宗大谷派。

## 江戸期の神社

- |       |    |             |                      |
|-------|----|-------------|----------------------|
| ①熊野神社 | 祭神 | 伊邪那岐命、菊理姫命。 | } 明治 40 年に熊野神社へ合祀する。 |
| ②八坂神社 | 祭神 | 建速須佐命。      |                      |
| ③天白神社 | 祭神 | 天照大神。       |                      |
| ④八幡神社 | 祭神 | 品陀和気神。      |                      |
| ⑤山 神  | 祭神 | 大山祇命。       |                      |